

佐倉南高校 家庭学習課題

教科	国語		
科目	国語総合／現代文B／古典A・B／国語表現		
対象学年・クラス	全学年 全クラス		
課題内容	<p>作文</p> <p>次のテーマの中から一つ選び、作文を書きなさい。</p> <p>※ 用紙は原則原稿用紙を用いること。準備ができない場合は、20×20のマス目をノート等に作成し、書くこと。</p> <p>① 自分の長所・短所について</p> <p>② 高校生活で頑張ったこと（1年生は、中学校生活で頑張ったこと）</p> <p>③ 最近のニュースについて、考えたことや思ったこと （最初にニュースについてまとめること）</p> <p>④ 自分の進路先の志望理由（2・3年生対象）</p> <p>⑤ 天声人語（別紙）を書き写し、自分の思ったこと</p> <p>【字数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～④については、800字程度（720字以上880字以内）で書くこと。 ・⑤は天声人語＋400字程度（360字以上440字以内）で書くこと。 		
提出の有無	有	提出期限	次回、学校に登校して最初の国語科（国語総合・現代文B）の授業のとき
評価	評価の対象とする。		
参考文献等	<p>Y o u T u b e 「第一学習社 小論文学習用動画」 (https://daiichi-g.co.jp/shoron-mov/) 作文の書き方がわからない生徒は上記を参考にして下さい。</p>		

(別紙)

今年の桜は、受難を強いられている。飲んで騒いでの花見がなくなり、ゆるりと歩いて眺めてくれるかと思いきや、ところによっては、立ち入りすら禁止されてしまった。きのうはきのうで、関東などで季節外れの雪に見舞われた。近所の桜の木を見ると、降った雪が花びらから垂れ下がり、小さなつららのようなようだった。桜の咲くころの冷え込みを「花冷え」と言うが、「花凍え」とでも呼びたくなる気候である。寒さに耐えるかのような薄桃色は、それはそれで美しいのだが、すぐに消えてしまう春の雪は、どこか淡い感じがする。しかし肌を感じる冷たさは同じである。〈この道しかない春の雪ふる〉種田山頭火。一筋の道を歩んでいく人に、思いがけない雪が降りかかる。新しく社会に出る人、学校に入る人にとって春はいつも試練のときだ。しかし今年は特別だろう。感染防止のため、入社式を中止する企業が相次いでいる。新人研修も自宅のパソコンで受けさせる会社があるという。大学の入学式も続々と取りやめになった。人と人が交わることによって仕事生まれ、学問が成り立つ。そんな基盤が危うくなっているのかもしれない。在宅勤務や遠隔授業などでどこまで補い、質を高められるか。この社会そのものが試練のなかにある。〈もろもろの木に降る春の曇（みぞれ）かな〉原石鼎（せきてい）。これから伸びていこうとする若い木があり、いまが働き盛りの年季の入った木がある。誰もが不安を抱えながら、新しい年度をもうすぐ迎える。

(朝日新聞 天声人語 3月30日)